

広
報

にゅうぜん

№. 278

昭和55年10月1日発行
毎月1回 1日発行
発行所 入善町役場

富山県入善町入膳3255

☎0765-72-1100 (〒939-06)



ふるさと歳時記
シリーズ

獅子舞

獅子舞がこの地方に定着したのは、今から300年前ごろだろうといわれています。獅子舞というより天狗が主役で、天狗が獅子をやつつけるという形は全国でも珍しいそうです。
子どもたちから聞きなれたあの軽快な笛のリスムに、思わず体が動き出すという方も多いのでは。

〈切り絵 松原 宣昭〉

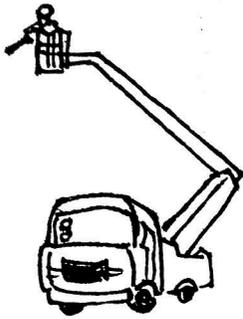
10月号

の使いみち

支出 50億8,521万円



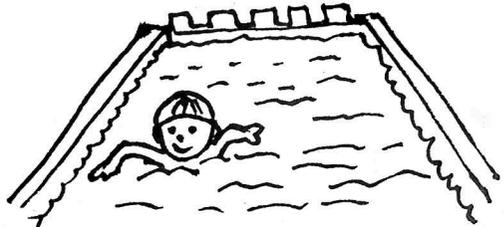
入善中学校改築



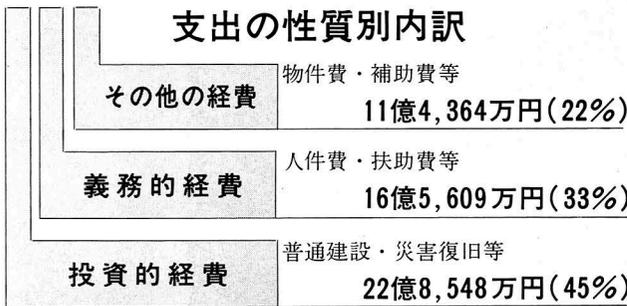
屈折はしご車配備



漁村センター建設



西中学校プール建設



昭和54年度の決算を大まかに見ると、前年度からの伸び率が6.6%と比較的に小幅になりましたが、これは前年度決算の伸び率が30%

50億円を突破
投資的経費に45%

9月定例町議会に、昭和54年度の町の決算が上程されました。
町の財政運営の概要と、その成果を、一般会計を中心にご紹介します。

収入の面では、町税と地方交付税が伸び、国庫支出金が減り、自主財源の比率が約40%にまで上昇しています。この要因としては、これまで積立していた中から、入善中学校の建設のために約2億円を繰入れたことによるものです。支出の面では、大まかに三つに分けて見ると、建物の建設や道路舗装など町づくりの大きな柱となる投資的経費が22億8千万で45%を占めています。また、職員の人件費や老人医療費無料化などによる扶助費、町債の返還に当てる公債費などの義務的経費が16億5千万円で33%、物件費や補助費などその他の経費が11億4千万で22%となっています。

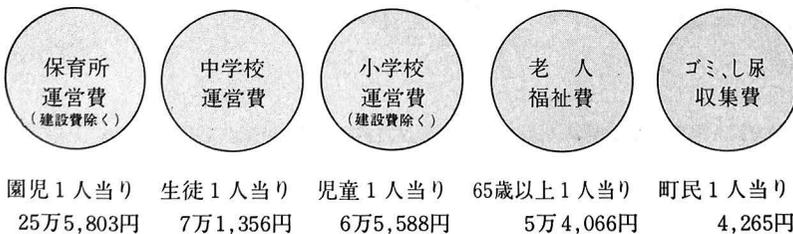
入善中学を改築
ナイター設備も

昨年の町の事業のうち、建設的な主な事業をひろってみました。

支出1人当り

17万3千円

決算の支出総額は50億8千万円で、町民1人当りにすると17万3千円になります。また、身近かな行政経費の1人当り支出は次のようになります。



町民の世論で止めよう特急列車

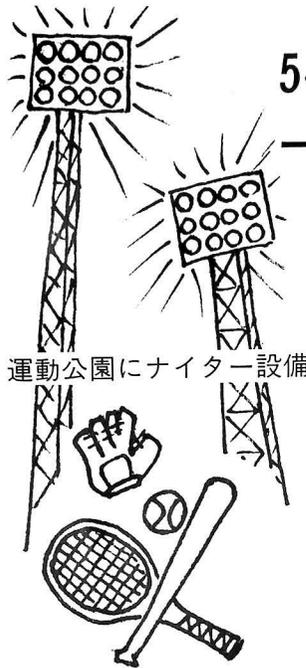
入善駅特急停車
推進キャンペーン

往復切符・定期券は
入善駅で買いましょう。

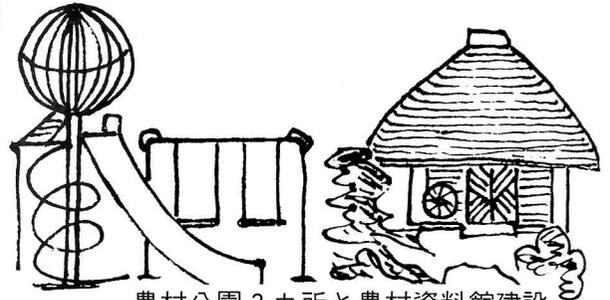
54年度 一般会計

町のお金

収入 51億1,702万円



運動公園にナイター設備



農村公園3カ所と農村資料館建設

まず、入善中学校の改築事業は、54・55年度の2か年継続事業として取り組まれ、今年4月に完成していますが、54年度では、6億3千万円が支出されています。学校関係では、入善西中学校に25メー

12億8,077万円	町 税
11億8,075万円	地方交付税
6億5,757万円	国庫支出金
6億1,815万円	県 支 出 金
4億9,970万円	町 債

収入の主な内訳

町民の生命財産を守る消防に、新しく屈折はしご車が購入され、近年増加しつつある中高層建築物の万一の災害に備えています。人家の密集している地域の火災に備

毎年休まず続けられている道路整備も、昨年度では約30キロメートルが舗装されました。また、舟見地区の舟川にかかる左近橋が完成しました。

横山地区には漁村センターが完成し、住民のいこいの場、社会教育の場として利用されています。入善漁港の改修事業も着々と進み、54年度では約1万平方メートルの泊地が新たにしゅんせつされました。

特別会計決算

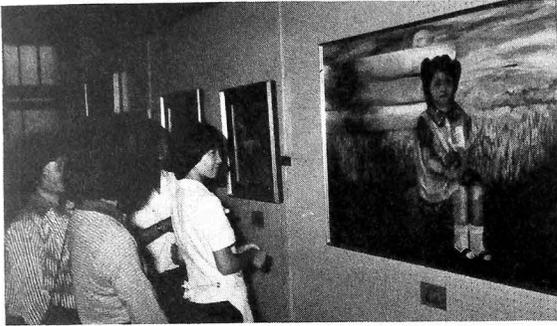
単位：万円

	収 入	支 出
国民健康保険	8億3,970	8億3,891
簡易水道	2,336	1,943
奨学資金	526	525
土地取得	873	801
分譲宅地	1億7,072	8,949

えて、初期消火に大きな威力を発揮する防火貯水槽も毎年つくられています。昨年は10か所に新設されました。

ますますきびしくなる転作に対応するため、トラクターやコンバインなどの農業機械の導入や、麦の乾燥施設の改造など、農政の重点事業として取り組みました。

秋 本 番



“芸術の秋、を満喫してください。
入高生徒の力作に思わず感嘆の声がアチ
コチに。(9月20・21日、入善高校祭)



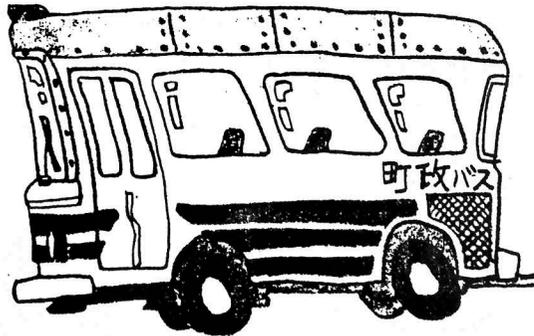
秋の風物詩は何と
も、「中秋の名月」です。
子どもから「月にはうさ
ぎさんはいないよね」なん
て言われると、事実ながら
もがっかりするものです。
夜空に映える月を見なが
ら、昔は風情があったなあ
としみじみ思います。
(9月23日、墓ノ木自然公園)



各地区で運動会た
けなわ。(9月19日、
入善中学校運動会)



町では、教育や環境、福祉施設、公園や企業など町内の主なところをバスで回り、実際にその目で確かめ、町の現状とこれからのまちづくりを考えていただくこうと、7月に続いて、今年2回目の「町政バス」を運行します。
今回は、親と子どもと一緒に参加できるよう日曜日を選びました。秋の一日、さわやかな風に吹かれながら入善町を一周してみません



あなたもここに
親子町政バス

か。

▼期日 11月2日(日)

▼時間 午前8時40分役場前発
午後3時30分着予定

▼参加費 無料
(中食は各自持参)

▼定員 60名(先着順)

・子どもさんは小学生以上。
・親子に限らず個人でも参加
できます。

▼申込み 役場企画財政課広報
係へ、直接または電
話でも可。

10月1日から受け付
けを始めます。定員
になりしだい締切り。

☎72-11100

(内線56)

▼コース

役場前→運動公園→老人い
いの家→富山日本電気→沢スギ
林→園家山→入善漁港→環境改
善センター→飯野保育所→上飯
野墓地公園→新和福島工場→黒
東小学校→フラワーセンター→
南部コミュニティセンター

中食・映画上映

究瀛公園→墓ノ木自然公園→
舟見寿楽園→東部斎場→清掃セ
ンター→入善中学校→新青島分
譲住宅→役場前



ズーム・アップ

奥田新作さん(吉原 74歳)

郷土史の研究に情熱をかけ、「系図を中心の地区の歴史」を37年目にしてついに完成させた町の郷土史家、奥田新作さんを自宅に訪ねました。

奥田さんは、昭和18年以来、各地区の「私たちの家、系図中心の歴史」を小冊子で自費発行。残されていた野中の部をこの9月に完成されたものです。

一系図を中心の地区の歴史を作成しようと思いたれたのは？

奥田 戦時中で日本国民の総力を結集すべき時、親しみに満ちた人間関係を作るために、また、親類同志のつながり、血のつながりを求めるには私たち庶民の歴史をつづたら……と考えました。そして、この小冊子を利用して、正しい家の歴史を各人が作って下さればと思ったからです。

一苦勞話などお聞かせください。

奥田 役場の戸籍や寺の過去帳、町内の家々を訪ね歩いて家名のルーツをたどって系図をつくるわけですが、こんどの野中地区については、戸籍簿の閲覧が禁止されたため、自転車に乗って一軒一軒尋ね回ったり、教え子に逆に教えを請うたりしました。

一家名のルーツはどこまでたどれるものですか？

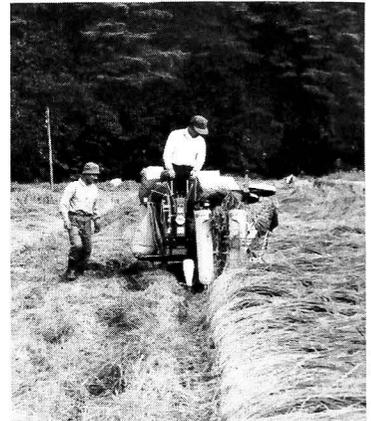
奥田 過去帳をひもといてみてもせいぜい300年ぐらいまでしか記してありませんし、家人からの聞き取りにしても限度があります。古文書などが発見されない限りそれ以上は不可能だと思います。

一貴重な郷土資料の完成、本当にご苦勞さまでした。今後も郷土史の研究にご活躍されますようお祈りいたします。

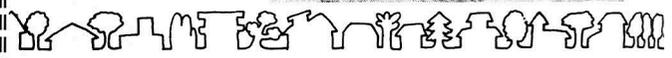


カメラルポ

「初めてながいけど、ゲートボールっちゃおもしろいのー」と、お年寄りは大ハッスル。(9月19日、ゲートボール大会、運動公園にて)



「実りの秋」と喜びたいところですが、「今年は1割から2割の減収じゃ」と、農家の人たちの表情はいまひとつさえません。



新制作座

嵐の中の男たち

一入善公演一

10月30日(木)

武村福祉会館ホール

昼の部(中学生) 午後1時30分

夜の部(一般) 午後6時10分

入場料 中学生 500円

一般 2千円

券は前売、教育委員会にあります。

主催：入善町PTA連協

町展

日時 10月10日~12日

午前9時30分

午後6時30分

会場 入善町中央公民館

主催 入善町・入善町教育委員会・入善町文化団体連絡協議会

応募資格

入善町在住者、勤務者及び出身者。作品は未発表であること。(ただし、小・中学生は除く)

詳しくは教育委員会社会教育課へお問い合わせください。

大切にしたい、この木を



野中神社境内南西端の大杉

町保存木を調査

名木・古木・大木といわれるような木は、昔からみるとずいぶん少なくなりましたが、まだ大切に残されているものもあります。

町では、緑豊かな公園都市にふさわしい、緑を大切にすふんいきづくりのシンボルとなるよう、これらの樹木を町保存木として指定しようと、その調査を始めました。町と住民が一体となって緑の保存に取り組もうというこのよう

な試みは県内でも初めてのことで、調査を担当するのは、町保存木指定調査委員会、委員には、県植物友の会会長の大田弘さん、小路登一桜井高校教諭、郵便局勤務で町内の事情に詳しい小森仁作さん、役場から寺林次信助役、右井社会教育課長の5名が委嘱され、町内各地の寺院や神社、個人の庭などにあるめばしい樹木を調査し

ています。保存木の対象となるのは、樹齢の高い名木、巨木、奇形木のほか、並木や社寺の森など、群落での指定も考えられます。

9月14日の第1回現地調査では、36か所、約120本の樹木について、幹囲りを測定しました。指定に当たっては、幹の太さ、樹高、樹齢、樹形など、総合的に判断し、民有者の同意を得て指定することになります。今回の調査で目についたおもなものには次のようなものがあります。数字は幹囲りで、根

おめでた



住	所	保護者	続柄	名前
吉	原	柏原英雄	長男	慎吾
青	木	上島忠義	2男	浩二
東	狐	野田光明	長女	雅子
五	十	飯作陸美	3女	梨乃
芦	崎	池原利夫	2男	浩介
笹	原	島瀬宗俊	長女	奈津子
野	中	川島重義	長男	義之
今	江	小松雅弘	長男	健
上	野	村山隆男	2女	晃代
上	飯	本多勝範	長男	純一
小	摺	寺林寿作	2男	政和
下	山	水野肇	長男	辰也
上	野	芦崎秀二	長女	道子
新	屋	熊野忠一	2男	大記
八	幡	尾山栄収	長男	直樹
若	栗	若島修一	長女	美穂
小	摺	寺林清	長男	陽一
田	ノ	坂東正幸	長男	陽一
青	島	森田行夫	長男	克則
上	野	島瀬義則	2女	恵理香
上	野	草島幸雄	長男	浩二
小	摺	伊林俊次	長女	未喜
福	島	松島清次	長男	大和
青	島	大角一紀	長女	絵美
道	古	島尻正規	長男	悟志
入	膳	板谷政明	長女	早苗
舟	見	小森都志男	2女	世志恵

窓の意善

あたたかご芳志に感謝いたします。
入善町善意銀行(敬称略)

現金の部 (8月4日~9月9日)

入膳	入善町公民館 中央公会館 高岡支部	1,960	愛の募金箱より
朝日町	常石 キミ	10,000	社会福祉事業資金として 新川むつみ園設備資金として 入善町手をつなぐ親の会へ
入膳	二上 静子	10,000	〃
青木	杉原 光男	10,000	亡父久松の供養として、 青木下村福寿会へ
青木	野沢 喜一	10,000	亡父与作の供養として
飯野	岩田 チカ	20,000	亡夫作の供養として飯野 第4福寿会へ
古黒部	広川 久昭	30,000	亡母アヤの供養として、 古黒部福寿会へ
横山	横山高等小学校10回卒業生 代表 浜田健二	10,600	同級会の一部を社会福祉 事業資金として
們山	吉田 敬安	30,000	亡母マスの供養として們 山福寿会へ
青島	大角 丈夫	20,000	亡妻よしゑの供養として 青島福寿会へ
田中	田中 直志	30,000	亡母フユの供養として田 中福寿会へ
入膳	商工婦人会 島 克子	11,998	七夕祭の収益金の一部を 社会福祉事業資金として
〃	田中 忠一	5,000	図書館購入費として、入善 町立図書館へ(8月~12月)
舟見	梨木 進	10,000	一般社会福祉のために
道市	泉 郁子	50,000	亡夫友治の供養として、 一般社会福祉へ
青木	松田 幸夫	10,000	亡父良の供養として、青 木中村福寿会へ
入膳	野田トシ子	10,000	新川むつみ園設備資金として、 入善町手をつなぐ親の会へ
〃	匿名	10,000	社会福祉事業資金として (8月分)
魚津市	高倉 茂代	30,000	亡谷島茂治の供養として 舟見寿栄苑
入膳	裏千家、島風齋 荻浦社中 新屋小学卒業生 代表 鍋島利直	50,000	薬月茶会の収益金を精薄施設資金と して、入善町手をつなぐ親の会へ
新上野	柚木 孝子	2,690	同級会に社会福祉 事業資金に
声崎	声崎若妻会 代表 池田昭子	100,000	亡夫幹夫の供養として社 会福祉事業資金に
		5,000	不用品交換の売上金の一 部を社会福祉事業資金に

物品の部 (8月26日~9月9日)

入膳	匿名	古切手 800枚	日赤県支部へ
入膳	声崎若妻会 代表 池田昭子	衣類 100点	不用品交換の一部を福祉 施設へ

元から約1.5メートルぐらいで測定したものです。
野中神社のスギ(544)は、根元1メートルぐらいのところから双幹になっており、恐しく町内最大の本ではないでしょうか。スギではそのほか舟見藤保内社のものがそれに次ぎます。
同じ藤保内社のケヤキ(376)も大きなもので、中山康平氏宅のもの(344)、伊林トメ氏宅のもの(322)などがあります。
クロマツでは、新屋通法寺のマツ(344)が最大、上原小学校前の丁松(337)、青木浄慶寺のもの(334)など。
アカマツでは、一宿神社のもの(347)が最大で、樹形もすばらしい。墓ノ木の姫松は、3本のよ

うに見えますが、地元の人の話では、根元を埋めたために3本に見えるが、実は根は一つだそうです。そのほか、中沢本龍寺にあるゴヨウマツ(333)東狐善称寺のイチヨウ(320)入善養照寺のエドヒガンザクラ(355)春日神社のタゴ群落(最大333)下山の地神様のエノキ(365)などが大きなものです。上野の板川進さん宅のツバキ(108)は、樹齢25年といわれ、マツやスギの3メートルのものに匹敵する古木です。
「古い、大きな木には神が宿る」と昔からい



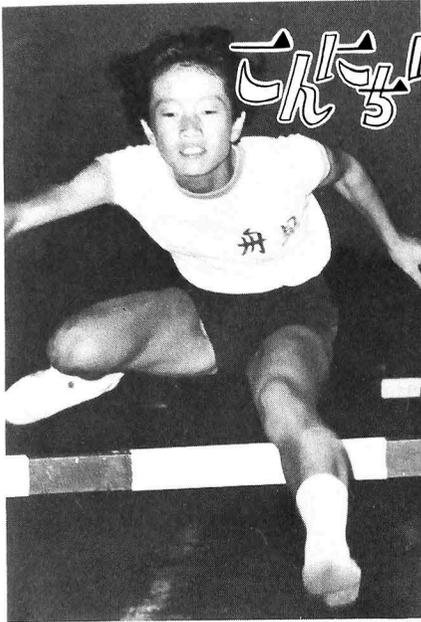
ますが、調査に同行して、樹齢200年、300年といった樹木を見ていると、大自然のエネルギー、年輪の重さといったものに圧倒されることなどがたびたびありました。ある家では「このケヤキだけは絶対切るな」というおじいさんの遺言で、大切にしているという話も聞きました。
一朝一夕では生まれないこれらの樹木を、一時の便利さや都合だけで切り倒すようなことがあっては大変もったいない。できれば大切に保存したいというのが実感です。
今年度は、おもに大木、巨木を中心に30件程度を保存木に指定したい考えですが、調査にもれたものの中にはあるかも知れません。近所にはあるかも知れませんが、うかというものがあれば、町の教育委員会の方へぜひご連絡ください。

おくやみ



上野	青木	青島	東五十里	舟見	們山	上野	上野	入膳	小摺戸	道古	入膳	声崎	道市	青島	田中	住所	下山	青木	新屋	舟見	入膳	新上野	野中	上野	声崎	
松田	中山	寸和	青木	杉田	佐藤	宝田	柚木	木村	四月朔日	屋木	飯田	泉	大西	松田	田中	氏名	袖野	上島	藤田	小林	米沢	寺崎	金山	城崎	志摩	
つな	ちよ	ちや	信子	みよ	次郎	平夫	幹夫	あき	はる	正作	三松	友治	ミドリ	良	大樹	年令	春光	隆	隆正	政則	一博	和夫	山勇吉	高徳	初男	
95	73	71	49	77	87	74	47	31	63	88	62	77	44	54	61	75	長男	2女	3女	長女	長男	2男	長男	2男	2男	長男
ミ	美	光	源	文	本	本	本	本	幸	本	本	本	本	本	本	茂	哲	美	雅	満	一	清	圭	圭	浩	二
ヨ	和	枝	太郎	作	人	人	人	人	与	人	人	人	人	人	人	春	都	郷	美	里	幸	紀	輔	也	也	

9月15日受付分まで



樽井芳子さん

舟見中・2年

100mハードルに 青春を燃やす

授業はもうとくに終わりに、誰もない校庭。真赤な夕陽が、地平線に落ちようとしている。そんな中で、タッタタッタとただひたすら白いバリアーを飛び越



「ご意見を お寄せください」

「ひろば」はあなたのページです。「いいたいこと」、「聞きたいこと」、「あなたの地区のニュース」などをお寄せください。紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所、氏名を明記してください。

あて先は役場企画財政課広報係(☎72-1100 内線56)です。

えて来る一人の少女の姿がある。樽井芳子ちゃん、舟見中学校2年生。7月の県中学校陸上競技選手権大会、女子100mハードルで優勝。県代表として宇都宮市で開催(8月22・23日)された全日本大会に臨んだ。満身の力をふりしぼって力走。予選で敗退という結果になったものの、彼女のタイムは県大会の16秒0を上回る15秒77で出場選手148人中40位という成績を残しました。

「私が所属しているのはバレエボールクラブ。100m走は14秒台でそんなに速い方ではないんだけど、ハードルとなるとなぜか速く走れるんです。どうしてかな？」と話すあたり、まだまだ余力がありそうです。

今14歳、青春まったただ中。「スポーツも好きだけど、うんと勉強して先生になりたい。」と、文武両道を目指す。

瀬戸焼といえば誰知らぬ者のない陶磁器の町。その愛知県瀬戸市への国内研修に参加させていただいたのが、7月8・9日でした。お昼過ぎ瀬戸市役所に着いた一行を、市の連合婦人連絡協議会の幹部の方々が温かく出迎えてくださいました。

早速市役所の会議室で研修会がもたれました。

教育長さんが、「土と火の町・瀬戸市を訪ねて

いただいた嬉しい。幹部の方とゆっくり話し合っただけで欲しい。」と歓迎してください。そのあとの会合にも参加してください。

今度の研修テーマは、◎多様化する学習要求に

対する婦人学習のあり方。◎サークル活動、団体活動を活発にするための運営方法です。瀬戸市でも就労婦人が多く、また、会員が若返り子供さんを持つ母親が多いため、学習会の日取りに苦勞すること。年代差があつて学習内容を考慮しなければならぬこと。ドーナツ現象的に市街地がふくらみ、地域活動が異なってくる。若い

瀬戸市を訪ねて

— 婦人国内研修 —

入善町連合婦人会

屋木・谷川記

市のお心づかいで用意された庁用車にて、婦人の水泳教室、民族資料館、焼物の原石の山などを見学し、宿舎前まで送っていただいた時は、惜別の感がひとしおでした。

人の学習における友情や連携に苦勞することなどが問題提起されました。婦人会活動に対する悩み、問題点はどこでも同じ。だからこそわずか2時間余りの交流会でも、何十年來の知己との旧交を温めたように和やかに話し合うことができました。



猛特訓中！ 飯野地区青年団

全国青年大会へ ＝男子バレーボール＝

去る8月24日、小矢部市を会場に開催された富山県青年大会で、飯野地区青年団が男子バレーの部で優勝し、全国大会への出場権を得ました。

全国青年大会は、11月6日～9日東京国立競技場を中心に開かれますが、飯野地区としては初の快挙だけに、「目指すは上位入賞」と、休む間もなく練習に励んでいます。

- ◎出場メンバーは次のとおりです。
井田信芳(部長)、山崎 勇(監督)
井田鉄也(キャプテン)、西島孝義
宮島克也、南保 均、井田 貢、
石原幹男、浅倉幸弘、高岡俊和、
浅倉 徹、永原義久 以上



長生きしてくださいね

〈米寿者〉 最高齢者〉に記念品

今年満88歳の米寿を迎えられた方は、入膳の金山ちいさんはじめ男3名、女10名の計13名おられます。また、現在町の最高齢者は、青木町組の西川のびさん(98歳)です。

敬老の日を前にした9月13日、寺林助役や、町社会福祉協議会、東部社会福祉事務所の関係者が、お祝いの品を持って各家庭を訪問し、お祝いと激励を行いました。

西川のびさん(写真)は、明治15年1月10日生まれ。毎朝6時には起き、背戸の畑に出るのが日課。耳は不自由ですが目のほうはまだまだ明るく、炊事・洗濯も自分でやっておられます。

また唯一の楽しみは、テレビを見ることで、特に相撲と料理の番組は欠かしたことはないそうです。



がんばってきます

富山県青年の船参加者

今年の富山県青年の船は、農産部門が10月13日から11月3日までアメリカ合衆国を、一般部門が10月13日から26日までオーストラリア連邦、ニュージーランドを、それぞれ訪問することになっています。

入善町からは、農産部門に中瀬博志さん(上野・29歳)、一般部門に杉原美恵さん(入膳・20歳)が参加されますが、出発前の心境、抱負を語っていただきました。

(中瀬さん)

農業経営資本の運営方法と米国民の生活をみてきたい。



(杉原さん)
新しい国、福祉の国、オーストラリアの素顔をホームステイを通して知りたいと思う。よりたくさんの人と話してみたい。

扇状地の自然

沢スギの植物 ⑩

富山県植物友の会会長
大田 弘



ナンブアザミ

沢スギ林内には、3種類のアザミが生育しています。

ナンブアザミは、奥羽地方、北関東、北信濃、北陸地方に分布し、県内では、深山の谷間に生育していますが、多くありません。花は秋に横向きに咲き、花時に根生葉は枯れます。春の若い葉は食用になり、風味があります。

ナンブアザミは、ナンブアザミと分布地帯は同じで、県内では、山麓の地下水の滲み出る湿地に生育しています。沢スギ林内の陽光地や林縁に見られ、かつてあった沢スギの周辺や水田の用水あたりに

問—同じ絵本を何度も何度も読み返しても飽きません。これはどういうわけでしょうか。ほかの本を読むようにしむけた方がいいような気がします。……

答—同じ絵本をくり返し読んでほしがるともよいことです。読み手は大変ですが、できるだけ読んであげて下さい。

子どもはある一冊の絵本に興味をもち、その中に喜びを見出すとあきらまるまで繰り返し何度も、その喜びや楽しさを確かめたいのです。

確かめる事により満足します。この満足感や充実感は子どもの感情を安定させます。

大人でも自分の好きな音楽をくり返し聞くではありませんか。自分の好きな絵を何度も広げながめまします。なぜでしょう。

そうする事は悪いでしょうか。止めたほうがよいでしょうか。しかし、そうした好みもすこしづつ変化し、時には突然好みが変わります。

それは何らかの精神的な変化や成長のためです。子どもの絵本に

対する好みも同じで、やがて変わります。そして二度とかえり異なることもあり、又、ある時期が過ぎると、再び取り出してみることもあります。

繰り返し一冊の絵本をみていますと、はじめはわからなかったところがわかるようになり、気づかなかつた事に気づくこともあります。

本の中に発見することが段々多くなり、その本の世界を通して想像する世界も充実し明確になります。

こうして子どもは一冊の絵本を時間をかけて読みとっていきます。これが成長です。

もし、あまり一冊の絵本だけに夢中になりすぎているのが気になるのでしたら、別の面白い本を読

図書館だより

同じばかりを「読んで」という子どもに

読んでみるのもいいでしょうが、無理にすることもありません。まして、子どもの好きな本を隠してしまうなどという事は愚かなことです。

古典文学鑑賞講座

10月8日(水)・20日(水)
10:00~12:00
源氏物語「葵の巻」
講師 中川禎子先生

こすもす読書会

10月6日(月)
9:30~11:30
テキスト
幸福の限界
(石川達三著)

※会場はいずれも武村福祉会館です。どうぞ御気軽に参加下さい。

編集室

広報10月号をお届けします。先日、保存木の調査に同行し、たくさんのお木を見てきました。日ごろなげなく見過ごしている木にも、それぞれの歴史があり、その木にまつわる思い出や言い伝えがあることを強く感じました。

なかには、枝葉が落ちたり、日陰になったりして邪魔だから切ったいという思いもあるものも残したいと思いが残っています。どうか。

広報や、町政に関してのご意見や提言があれば、どしどし広報係へお寄せください。

今月の人口		
人口	29,446 (+13)	29,366
男	14,043 (+8)	13,995
女	15,403 (+5)	15,371
世帯数	7,236 (-3)	7,211
()内は前月比		前年同月
9月1日現在住民登録		